

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	フォルツァ・ジーティー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：FORZA GT

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：FORZA REDLINE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

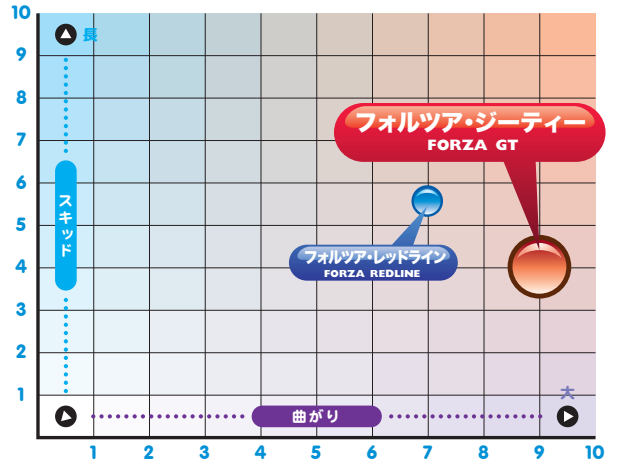
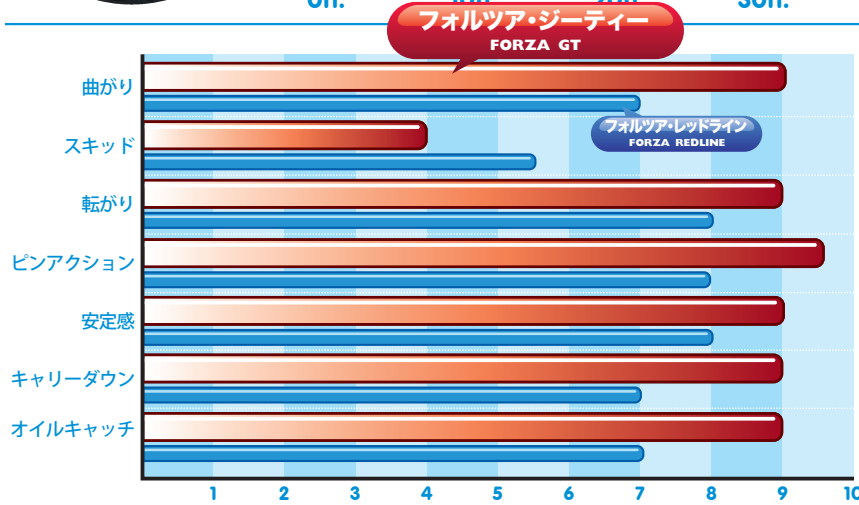
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社の中でMedium Oilの領域をカバーするFORZAシリーズ。今回リリースするFORZA GTはMedium領域の発表ですが、MediumからMedium Heavyまで対応できる、オイルに対する強さとBackendの強さを兼ね備えた非常にバランスの取れたボールに仕上がっています。Core Technologyはoriginal FORZAから受け継がれているTorx Core。

CoverstockにはHelix Reactiveで初の採用となるHybridを搭載しています。OriginalのFORZAではSolid Reactiveで手前からの強いトルクのある曲りをピンヒットまで持続させ、FORZA REDLINEのPearlではスキッドしてからのBackendを強調させることでメリハリのある動きを作り出していました。そして今回のFORZA GTのHelix HRはSolid Coverのような厚い手前のオイルに負けることのないキャッチとPearl素材のようなドライゾーンでのメリハリのあるBackend双方を兼ね備えていることが投球者に性能領域以上の”曲がる”という印象を与えてくれるでしょう。

テストミーティングでも他のボールがキャリーダウンを感じているラインでもFORZA GTはものともせず曲り、向きを変え始めるからの動き幅が想像以上に大きいと感じました。FORZAといえばOriginalの印象が強いのので緩やかな軌道イメージでラインを追うと、Mid Laneでははかにか動きがイメージを上回ります。またHybrid Coverstockへの変更の恩恵は、Pearl素材のBackendの動きの反応の良さは残して、全体的にオイルキャッチを強められたこと。Box Finishの4000グリットLSSで手前からのグリップ力をさらに上げることで、OriginalのFORZAのキャッチにbackendの動きをさらに向上させる、CoreとChemical tuneupのマッチングが完璧とも言える出来栄えだと思えます。

特記事項

Solid Coverで成しえなかったOriginalのFORZAのBackendの動きにメリハリを加え、攻撃性を高めたFORZAになりました。REVOLTのやや丸いイメージとは異なる、しっかりと向きを変えて曲がるボールです。